

4 実施事項

(3) 取組事例の紹介について

1) 県取組事例

取組事例の紹介

◇メディアとの情報共有の場について（県）

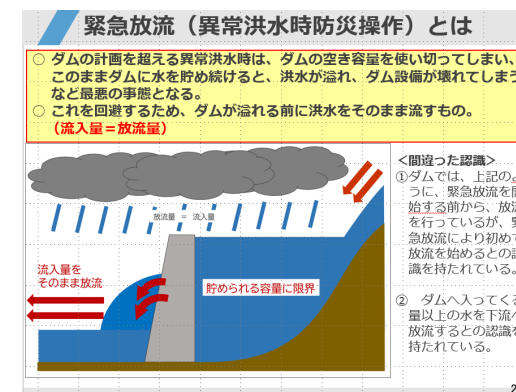
- 令和元年東日本台風において城山ダムでは、昭和40年の運用開始以来、初めて緊急放流を実施し、記者発表や緊急速報メールなど様々なツールにより、住民に情報発信していたが、**発信者である県と受け手である住民との間で認識が異なっており、危機感や切迫感が十分に伝わらなかった。**
- ダムの防災情報を住民に正しくわかりやすく伝わるよう、緊急放流による影響や令和2年度に導入した事前放流と特例操作の新たな操作等について、本格的な台風シーズンに備え、**メディアの方々と情報共有する場を令和3年度に設けた。**

【内 容】

- ・ ダムの洪水調節について(大雨時・異常洪水時の操作)
- ・ 洪水調節機能の強化及びその効果(事前放流・特例操作)
- ・ 記者発表及び記者会見について(実施の目安・内容など)
- ・ 情報提供の取組みについて

【効 果】

- **ダムの用語や操作、記者発表のタイミング等について共有**でき、メディアの方々と同じ認識を持つことができた。



取組事例の紹介について

◆ 洪水浸水想定区域の看板設置（県）

- 本県では、住民の自主的な避難を促すソフト対策の一環として、洪水浸水想定区域を周知するため、浸水が想定される県管理河川に、看板の設置を進めている。
- 平成30年度は、洪水予報河川（相模川・酒匂川）を対象に実施し、令和元年度から、水位周知河川へ拡大し、実施している。

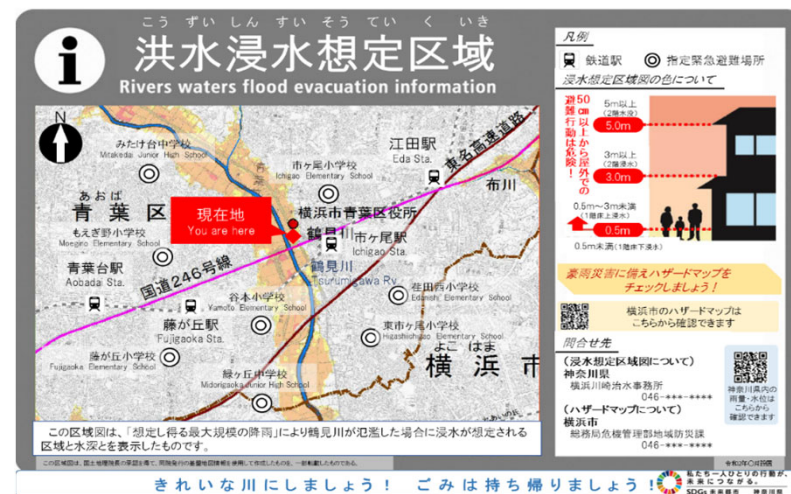
【これまでの設置状況】 合計81基設置

- 洪水予報河川：計35基
（相模川22基、酒匂川13基）
- 水位周知河川：計46基
（鶴見川、大岡川 等）

【今後の予定】

引き続き、溢水した河川や氾濫危険水位を超過した河川などを中心に、設置を進める。

各市町村におかれましては、設置にあたっての場所の選定 及び ハザードマップ閲覧の二次元コードの貼り付けについて、ご協力をお願いします。



取組事例の紹介について

◇ 水防演習の実施（県）

○水防演習は、水害から県民の生命や財産を守るため、水防団や防災機関等の水防活動に従事する者の技術の向上や地域住民の水防に対する理解を深めること等を目的に、実施箇所の近隣水防管理団体（市町村）とともに、隔年で実施してい

【令和6年度】 日 時：令和6年5月26日（日）
場 所：酒匂川スポーツ広場（酒匂川右岸、小田原大橋上流）
主 催：県、小田原市、箱根町、真鶴町、湯河原町
参加人数：全20機関 総勢約1,300名（招待者、一般見学者を含む）

＜第1部＞ ※下線は今回新規実施

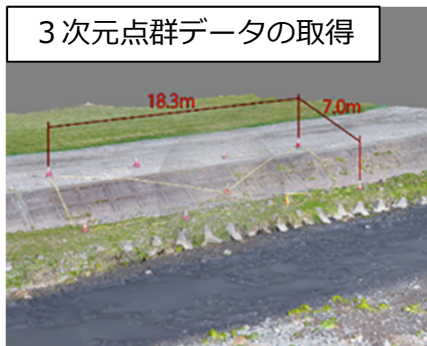
○水防工法訓練

洗掘防止工（木流し工、シート張り工等）
越水防止工（積み土のう工、水マット工等）
ドローンによる3次元点群データの取得等

水マット工



3次元点群データの取得



＜第2部＞

○救出救助訓練

ボートによる中州からの救助
埋没車両の救助、救助者搬送等

○排水ポンプ車出動要請訓練等

ボートによる中州からの救助



排水ポンプ車出動要請訓練



次回の水防演習は、場所を相模川に変えて令和8年度に実施する予定。

2) 県内自治体の取組事例

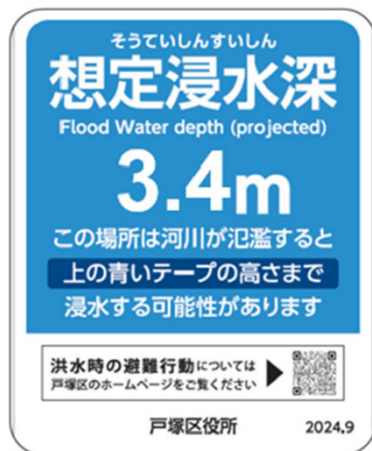
取組事例の紹介

◆ 戸塚区内の電柱にまるごとまちごとハザードマップを設置しました（横浜市）

○地域の洪水リスクを生活空間である“まちなか”で視覚的に確認し、自分事として捉えていただくため、戸塚区内の電柱に河川が氾濫した際の想定最大浸水深を示す表示を設置

（青いテープ）
浸水したときの実際の水の高さが視覚的にわかる！

（標識）
“まちなか”の電柱に貼ってあるので、普段の生活で目につく！



【設置箇所】

柏尾川等戸塚区内を流れる河川の流域で、洪水想定浸水深1.0m 以上の区域内的の100 箇所

＜参考＞

【まるごとまちごとハザードマップ】

水害に関する情報を生活空間である“まちなか”に表示し、自然に目に入るようにすることで、日頃から水害への意識を高めようとする、国土交通省が推奨する取組。

全国の数多くの自治体で実施され、ハザードマップの認知度向上などにつながっています。

取組事例の紹介

◇ マイタイムラインの作成訓練について（綾瀬市）

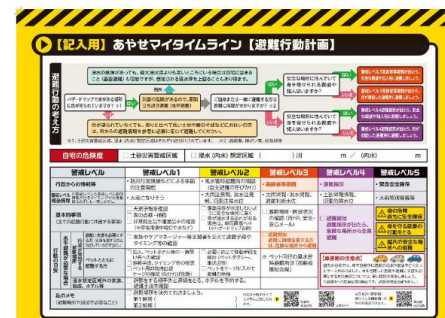
- 風水害に備え、マイタイムラインを有効活用できるように、昨年度新たに作成したマイタイムラインを作成する要領について訓練を実施

【令和6年度】

- ・綾瀬市民生委員児童委員協議会において、防災講演会を行い、昨年度末に全戸配布したマイ・タイムラインを参加者に作成してもらい、マイタイムラインに基づく避難行動の確保（イメージ）訓練を実施する予定（11月18日）

【今後の予定】

- ・マイ・タイムラインの啓発は、今後もあらゆる機会をとらえて継続的に実施していく。



令和6年3月に新たに全戸配布したハザードマップとマイタイムライン（マイタイムラインは裏表紙に掲載） 20

取組事例の紹介

◇ 福祉専門職へのハザードマップ研修の実施（平塚市）

- 災害時における要配慮者の避難計画の実効性確保のため、地域包括支援センターにて、福祉専門職を対象とした、ハザードマップの活用方法に関する研修を実施した。

【令和6年度】

- ・10月11日 地域包括支援センター倉田会において実施（約20人参加）。

【今度の予定】

- ・今後も継続して、他の地域包括支援センターへ実施して行く予定。

グループワーク

視点 ⑥

- 1 浸水深は？
- 2 家屋倒壊等氾濫想定区
- 3 浸水継続時間は？
- 4 避難の方法 安全な場
- 5 指定緊急避難場所は？
- 6 配慮することは？

グループワーク

ハザードマップ上に事前に、プロットしています。



赤



青



黄

そして、それぞれに、想定居住者を設定しています。

8月30日 14時に 台風にとまなう

金目川の河川水位上昇による、高齢者等避難が発令された場合の

それぞれの対応を考えてください。



10月11日に実施した研修会の状況

取組事例の紹介

◇ 河川情報や災害情報の「見える化」について（秦野市）

○近年、激甚化・頻発化する自然災害において、一人ひとりの状況に即した避難情報の発令は困難であり、避難の最終判断は「個人」に委ねられることから、市民の皆さんが「自らの命は自らが守る」という意識を持ち、自分で決める主体的な避難行動を最大限支援するため、河川水位やカメラ画像、浸水想定区域などの防災情報を自分のスマートフォンから確認することができる「秦野市総合防災情報システム」を、令和4年7月1日から運用を開始した。
また、スマートフォンの操作に不慣れな65歳以上の高齢者等を対象に自身のスマートフォンから本システムの操作方法を学ぶ「やさしい防災講習会」を開催した。

【令和6年度】

- ・自治会向け講習会等においてシステム紹介及び操作講習を実施

【今度の予定】

- ・継続して講習会を実施

取組事例の紹介



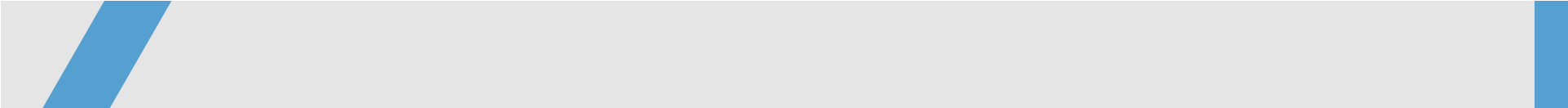
Kanagawa Prefectural Government



やさしい防災講習会の状況



3) 参考資料



横浜・川崎地域 取組事例

取組事例の紹介

◇青葉区内の小中学校でマイ・タイムライン作成講座を実施しました（横浜市）

対象者：青葉区内の小中学校の児童・生徒

- 青葉区内の小中学校の児童・生徒を対象に、台風や大雨の水害等、これから起こるかもしれない災害について説明を行いました。その上で、自分自身の避難行動計画について考える、マイ・タイムライン作成講座を実施しました。

【令和6年度】

- ・ 11会場において実施（約1,100人参加）※10月末時点

【今度の予定】

- ・ マイ・タイムラインの啓発は、今後も継続的に実施していく。



取組事例の紹介

◇ 新たな防災啓発の取組について（川崎市）

【こども防災塾】

・これまで、夏休みイベントとして、市内の小学生とその保護者が防災施設見学や体験を通じ、防災について学ぶバスツアー型のイベントを実施していたが、令和6年度から、地域へ展開し市内3カ所において、地域の課題に応じた内容により、地元企業や団体に講師として協力してもらう形式でのワークショップを実施。

（写真はアジア航測株式会社協力によるマイハザードマップ作成の講座）



取組事例の紹介

◇出水期におけるデジタルツールを活用したマイ・タイムラインの普及啓発について（川崎市）

- マイ・タイムラインの普及啓発に際して、SNSなどメディアミックスを積極的に活用し、様々な媒体で発信を行うことで、幅広い世代へPRすることができた。

【令和6年度】

- ・ 「マイ・タイムライン」をテーマとした防災マガジンを発行
- ・ 川崎駅の河川情報掲示板等での動画配信や、地下通路の広報コーナーで「マイ・タイムライン」をテーマとした展示を実施
- ・ 川崎市公式YouTubeチャンネルにて「マイ・タイムライン」をテーマとした動画を配信



Youtube動画



防災マガジン

三浦半島地域 取組事例

取組事例の紹介

◇ 総合防災訓練について（逗子市）

○災害時に在宅避難者が必要としている物資を把握するため、Web上で、アンケート訓練を実施

【令和6年度】

- ・ 10月から12月までの計5回、市の総合防災訓練開催中にWeb上で回答をしてもらうもの（10月20日は約60人参加）

【今度の予定】

- ・ より実用性のあるものにするべく、今後も実施予定



10月20日に実施したWebアンケート
訓練の結果を映しだしている様子

藤沢・相模原地域 取組事例

各構成員の取組について

◇マイ・タイムラインわかりやすい版について（相模原市）

- 知的障害のある方や発達障害のある方など、誰にでもわかりやすい「マイ・タイムラインわかりやすい版」を作成しました。
（健康福祉局 高齢・障害者福祉課）

【令和6年度】

- ・市ホームページへの掲載のほか、各高齢・障害者相談課等の関係窓口にて配布を行っています。

【今後の予定】

- ・引き続き窓口配布を行うとともに、防災のイベント等での配布等、周知啓発に努めます。

マイ・タイムライン わかりやすい版

取組事例の紹介

◇ 防災講演会について（藤沢市）

○いつ来るかわからない災害に備えて、 自助・共助の取組を促進するため、日本大学で、防災講話を実施。

【令和 6 年度】

- ・ 7 月 3 日に日本大学湘南キャンパスにおいて「いま、わたしたちにできること。」をテーマとした。（先生、生徒合わせて約 100 人参加。）

【今度の予定】

- ・ 今後、他の事業所等でも実施予定。



Ⅰ（参考）マイ・タイムライン

マイ・タイムラインの作成

「マイ・タイムライン」とは、台風等の接近による大雨によって河川の水位が上昇するときに、安全に避難するために事前に考えておく、自分のための避難行動計画表。

年齢や家族構成、住んでいる場所によって避難する場所やタイミングは変わる。

自分に合った避難計画を作ることで、災害発生時には、事前に作ったマイ・タイムラインを参考に行動することができ、いざという時に慌てずに避難することができる。

Copyright © Fujisawa City, All rights Reserved.

40



Ⅰ（参考）マイ・タイムライン

マイ・タイムラインの作成

STEP 1 住んでいる地区の災害リスクを知る

STEP 2 避難場所・経路を調べる

STEP 3 避難情報や気象情報等から自分の「避難の目安」を考える

Copyright © Fujisawa City, All rights Reserved.

41



Ⅰ（参考）マイ・タイムライン

マイ・タイムラインの作成

STEP 4 非常用持出品（避難の時に持っていくもの）

STEP 5 自分や家族が避難を完了するまでの行動をイメージしてみる

STEP 6 マイ・タイムラインの記入が完了したら、行動に無理がないか確認をする

Copyright © Fujisawa City, All rights Reserved.

42

7 月 3 日に実施した講演会資料の一部抜粋

取組事例の紹介

◇ マイ・タイムライン作成の促進について（茅ヶ崎市）

【令和6年度】

- 防災リーダー向けの周知・啓発
 - ・ 7月2日に防災リーダーフォローアップ研修にて、指導者育成講座（マイ・タイムライン、防災情報）を昨年に引き続き実施（25名）。
 - ・ 本講座は、地域での防災訓練や研修で指導員として普及啓発に努める方を育成することを目的としている。
- 一般市民向けの周知・啓発
 - ・ 広報紙（9月号）やInstagram等の媒体や防災講座等で、マイ・タイムラインの周知・啓発を実施。
 - ・ 若い世代向けの広報媒体として、Instagram（chigasaki_bousai）を開設



講座の様子



Instagram
マイ・タイムラインに関する投稿

【今後の予定】

- ・ 地域の防災リーダー等と協力しながら、様々な媒体や機会を活用し、市民への周知・啓発を継続して行っていく

取組事例の紹介

◇ 洪水ハザードマップ/マイ・タイムラインについて（大和市）

○市民の災害時における避難行動や情報収集などの意識づけとして、
防災講話にて意識啓発を実施

【令和6年度】

- ・ 4月1日から10月31日までに、自治会、自主防災会及び学校等に
8回の防災講話を実施（400名が参加）

【今度の予定】

- ・ 今後も実施



7月19日実施(大和スポーツクラブ)

Kanagawa Prefectural Government



9月2日実施(桜丘小学校)

取組事例の紹介

◇水防訓練（広報活動及び残留者確認）について（海老名市）

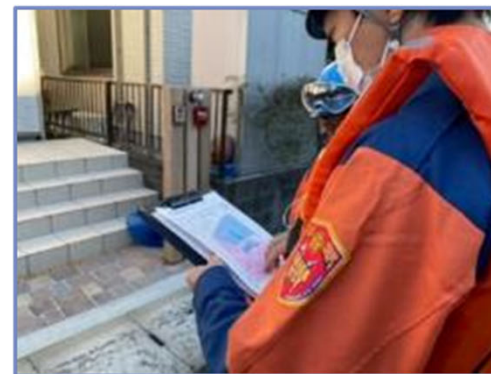
- 令和元年台風第19号の教訓を鑑み、「海老名市相模川氾濫基本的対処方針」及び「家屋倒壊等氾濫想定区域等広報活動及び残留者確認マニュアル」を作成。
- 消防本部及び消防団は、相模川の氾濫のおそれがある場合において、家屋倒壊等氾濫想定区域及び浸水想定区域の住民に対して、広報車両による避難情報の伝達及び戸別訪問による残留者の確認を実施します。

【令和6年度】

消防団を対象に「海老名市相模川氾濫基本的対処方針」に基づく水防活動の流れについて座学を実施予定。

【今度の予定】

令和7年度に「家屋倒壊等氾濫想定区域等広報活動及び残留者確認マニュアル」に基づく実働訓練（水防訓練）を実施予定。（前回は令和5年度に実施）



令和5年度海老名市水防訓練（広報活動及び残留者確認訓練）の様子

取組事例の紹介

◇ 自主防災組織等への防災講話について（座間市）

○自主防災組織等の要請により、地域特性に合わせた防災講話を実施。

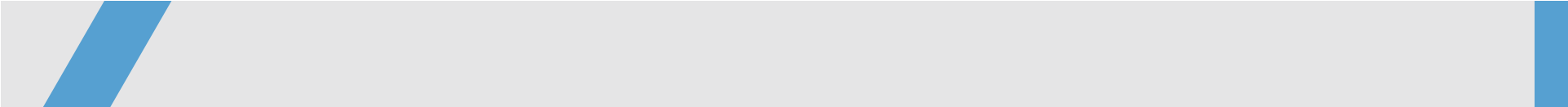
【令和6年度】

- ・ 4月1日から10月31日までの間、10団体（各回10～20名）
に対して実施

【今度の予定】

- ・ 今後も実施





厚木地域

取組事例

取組事例の紹介

◆ 防災ポケットブック全戸配布について（厚木市）

○家庭や地域における防災力強化のため、令和6年2月から3月にかけて厚木市内全域に改訂版の防災ポケットブックを全戸配布。

【令和6年度】

- ・厚木市内各施設に防災ポケットブックを配布。
- ・危機管理課の防災講話や各自治会の防災訓練にて防災ポケットブックを紹介。

【今度の予定】

引き続き、防災ポケットブックの活用を促進し、家庭や地域における防災力の強化を図る。

わが家の防災メモ

家族の連絡先

氏名	性別	住所	電話番号	メールアドレス
自 宅	☐			
名前	☐	電話番号		メールアドレス
名前	☐	電話番号		メールアドレス
名前	☐	電話番号		メールアドレス
名前	☐	電話番号		メールアドレス
名前	☐	電話番号		メールアドレス

遠方に住む親戚・知人（中継連絡先）

氏名	性別	住所	電話番号
	☐		
	☐		

避難場所

※災害時に避難する場所が異なる場合があります。事前にハザードマップなどで確認し、家族に決めておきましょう。

避難場所	避難注意事項
洪水・浸水時	避難注意事項
土砂災害時	避難注意事項

避難時の確認事項

☐ 火元の確認
☐ プレーカーを落とす
☐ 非常持ち出し袋を持つ
 （場所： ）

☐ 貴重品を持つ
☐ 携帯電話・スマートフォンを持つ
☐ 防災備蓄品を持つ

自宅の災害リスク

洪水・浸水のリスク ☐ なし ☐ あり（浸水の深さ _____ m）

土砂災害のリスク ☐ なし ☐ あり（土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域）

発行日：令和6年1月 印刷所：厚木市危機管理課 発行：厚木市危機管理課

厚木市 防災 ポケットブック







スマホやタブレットで読めます。 **デジタルブック**

☐ 文字サイズ拡大、自動音声読み上げ
☐ 9言語で読める・聞ける（音声読み上げ対応）

[Automatic Translation] 英語 (English)、
 中国語 (簡体字・繁体字)、韓国語 (韓国語)、
 ポルトガル語 (Portuguese)、タイ語 (Thai)、ベトナム語 (Vietnamese)、
 スペイン語 (Spanish)

取組事例の紹介

◇ 洪水・土砂災害ハザードマップを活用した図上訓練の実施について（愛川町）

- 大雨時の行動タイムラインに沿った想定を付与し、避難のタイミングや行動の確認、合わせて危険個所や避難経路の確認を図上で訓練しました。

【令和 6 年度】

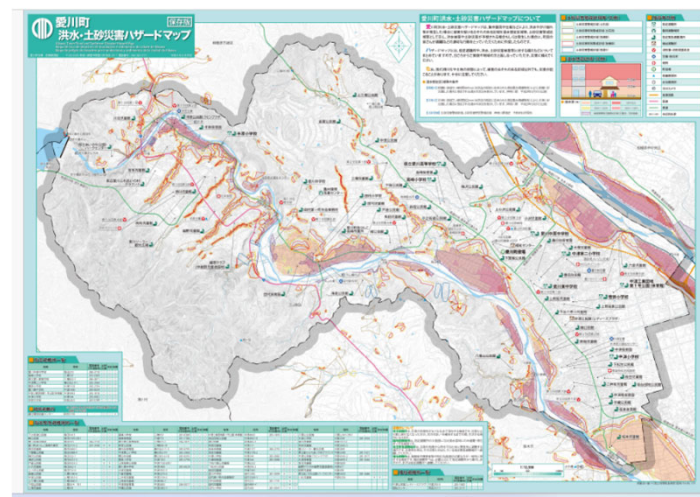
- ・ 9月14日（土）浸水想定区域の住民や自治会役員を対象に、下箕輪公民館で実施しました。（参加者18名）

【今度の予定】

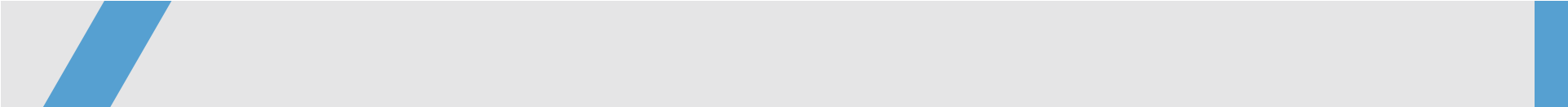
- ・ 次年度も対象地域を変更して実施予定



9月14日に実施した図上訓練の様子



愛川町洪水・土砂災害ハザードマップ



平塚地域

取組事例

取組事例の紹介

◇ 自主防災リーダー養成研修会について（伊勢原市）

○ 自主防災組織の防災意識向上のため、市内7地区を対象に研修会を実施

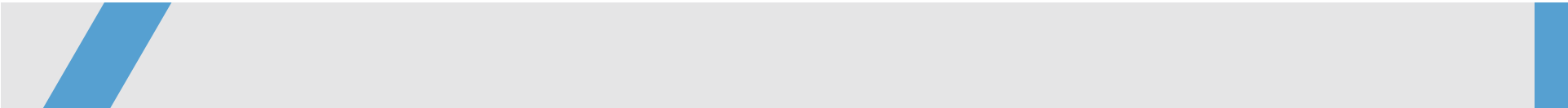
【令和6年度】

・ 6/15.16.22.23日の4日間、7会場において実施（約200人参加）

【今度の予定】

・ 今後も実施予定





県西地域

取組事例

取組事例の紹介

◇河川・海岸監視カメラについて（小田原市）

- 本市では、市内の河川等において、過去に溢水や越波の被害があった場所に令和4年度から新たにカメラを設置し、映像を市民が自主避難等で活用できるように、令和5年度から市ホームページ等で一部公開している。
- 本市以外が設置したカメラ映像も横断的に閲覧できるように市ホームページで公開している地図上には、県「神奈川県雨量水位情報」のカメラページへのリンクも掲載し、沿川住民の方がより多くの情報が得られるよう工夫している。
- 河川・海岸監視カメラの新設に併せて、洪水や氾濫に関する予測を行うシステム（6時間先の雨量・浸水危険度・浸水深・河川水位・河川流量を予測するもの）を構築し、避難情報を発令する際の判断材料の1つとして活用するため、検証を進めている。



市ホームページ（地図部分抜粋）



河川監視カメラ設置状況

取組事例の紹介

◇ 総合防災訓練について（大磯町）

大型の台風の接近に伴う大雨による土砂災害や洪水等の風水害に備え、災害対応の基本となる地域住民の「自助」と「共助」の意識向上を図ることを目的に訓練を実施。

【令和6年度】

～安否確認訓練～ 参加対象:町民（主に個別避難計画未作成者が対象）

町内会・自主防災組織及び民生委員等は、個別避難計画作成対象者となる避難行動要支援者の所在等について確認。個別避難計画を作成済みの避難行動要支援者については、気象・避難情報の伝達や避難支援等、計画で定めた内容について確認。

～避難訓練～ 参加対象:町民

事前に作成したマイ・タイムラインに基づき、各自で避難行動や、自宅が安全な場合は、在宅避難を行った。

～避難所開設・運営訓練～ 参加対象:各地区、町

各地区で地域集会施設を指定緊急避難場所として開設し、避難者の受付や運営の手順等について確認。

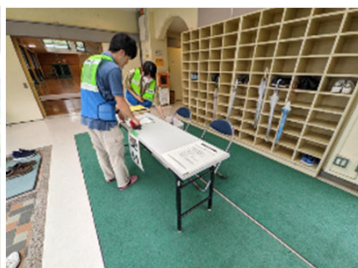
町は職員により各指定避難所（学校）を開設し、避難者の受付や運営の手順等について確認。

【今度の予定】

・今後も実施



地域集会施設開設



指定避難所受付設置



投光器設置



段ボールパーテーション設置



町長による防災行政無線放送

取組事例の紹介

◇ マイ・タイムラインの周知について（南足柄市）

○マイ・タイムラインの周知のため、自治会や中学校等において防災講話を実施

【令和6年度】

- ・ 5月26日から12月2日までの間で延べ22日間、22会場において実施（約1500人参加）

【今度の予定】

- ・ マイ・タイムラインの啓発は、今後も継続的に実施していく

時計 わが家の『マイ・タイムライン』

「いつ」「だれが」「何を」を時間ごとに整理しましょう！

大震災の備え

心の備えを高める

避難行動の確認

避難準備は速速、他の住民は準備

避難経路の確認

命を守る最後の行動



7月16日に実施した
中沼自治会防災講話の状況

取組事例の紹介

◇ 学校と連携した防災教育の取組みについて（山北町）

○県立山北高校の総合学習課目「気候変動じぶんゴト化プロジェクト」の一部として、地球温暖化とそれに伴う風水害に関する防災教育を実施し、防災意識を啓発

【令和6年度】

- ・ 7月10日、山北高校2年生（約200名）を対象に、風水害の発生状況とハザードマップによる危険個所の確認、災害リスクと備え、避難行動等について教育

【今度の予定】

- ・ 引き続き実施する予定



7月10日に実施した防災教育の状況

取組事例の紹介

◇防災講座の開催（開成町）

○ 各自主防災会からの推薦及び一般公募により25名を対象に防災講座を実施

【令和6年度】

- ・ 年6回の講座を開催し、ハザードマップやマイ・タイムラインの見方や作成方法などを学びます。

【今度の予定】

- ・ 防災講座受講者のうち一定条件を満たす方を対象に、地域防災リーダー養成講座を開催し、地域の担い手を育成する。



ハザードマップの見方や心肺蘇生訓練など防災講座の受講状況

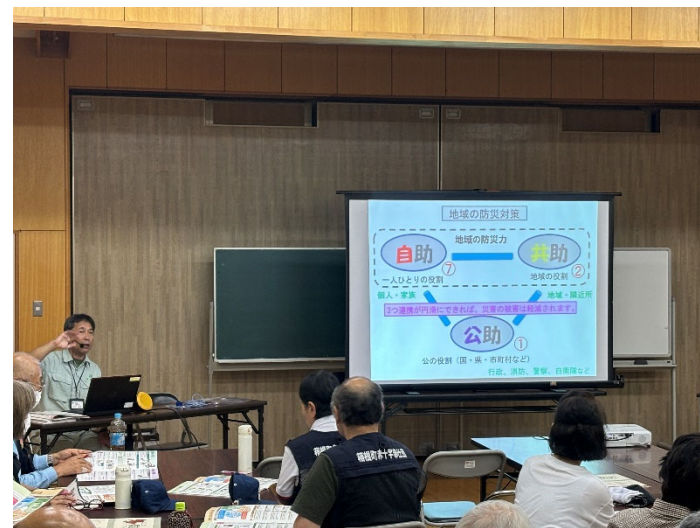
取組事例の紹介

◆ 防災ガイドブックを活用した防災講話について（箱根町）

○令和6年6月27日（木）に実施した令和6年度土砂災害・全国防災訓練内において「はこね防災ガイドブック」を活用した防災講話を実施したもの

○「はこね防災ガイドブック」内には「マイ・タイムライン」の項目のほか「ハザードマップ」や「浸水対策方法」、「備蓄品および非常時持ち出し品のリスト」などの防災・減災に関する役立つ情報が掲載されている。

○ ガイドブックは役場窓口ほか各出張所で配布している。

[illegible]

6月27日に実施した防災講話の状況